

*地域社会武道指導者研修会

令和元年10月12日(土)～13日(日) 於：石川県立武道館

中央講師：小倉正樹範士八段(大分県)・本村昌克教士八段(千葉県)

地元講師：水橋 美喜夫教士七段・木下 外治教士七段

受講者：一日目39名、二日目39名

日程：

《一日目》

- ・主任講師の矢渡後、介添講評
- ・受講者一手行射、行射講評(4名の講師から)
- ・午後講師講話(小倉範士)、
- ・基本体練習と射技指導

《二日目》

- ・講師一つの射礼、
- ・射礼研修(持ち的、一つの射礼)、
- ・射技指導

中央講師の主な指導：

【小倉範士】…入場時の礼・揖で矢羽が上下しないこと、上座に正対すること、手の内のあり方を勉強すること、取懸けでは左肘を下げないこと、頬付をしっかり行うこと、「心技体」という言葉があるが、私は大横綱の双葉山が残した「心気体」が大事だと思っている。

【本村教士】…大三のとり方(何のために大三をとるのかを考えよ)、開き足を正しく、「知ることは楽しみなり」弓道を正しく行う喜びを目標にしてほしい

